



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.66

令和3年2月1日

文責：校長 伊藤孝行

今日から2月「如月」に入りました。

1年の中で最も寒いのが2月と言われます。

この2月を日本の昔の言い方では「如月(きさらぎ)」と言います。これは寒さのあまり「着ているものの上に更に着物を着る(きさらぎにきる)」ということからきています。

昔はダウンもフリースもなかったので、重ね着しても寒かったことだと思います。

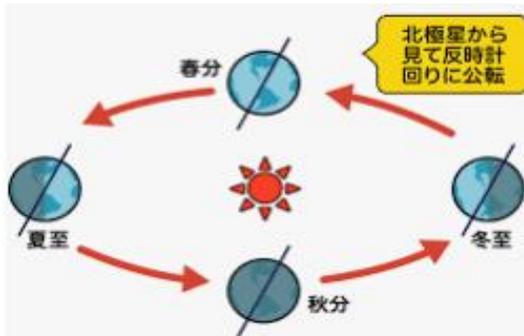
私の子どもの頃の防寒着はあまり暖かいものではなかったため、手足の指に「しもやけ」ができていた子どもがたくさんいました。



今の子どもの防寒着は優れていてしもやけになっている子どもがほとんどみられません。

2月2日の節分は124年振りです！

節分といえば2月3日と思っている方が多いようですが、今年の「節分」は、明治30年(1897年)以来124年ぶりに「2月2日」です。



これには地球の傾き(約22度)と地球が太陽の周りを回る時間に関係があります。

地球の傾いているため春分や夏至などができ、地球が太陽の周りを回る時間が365日と約6時間のため「うるう年」ができます。それが重なったため節分が2月2日になったのです。

豆まきは悪霊退治にもってこいです！！

節分といえばイコール「豆まき」といってよいくらいです。「鬼は外、福は内」と、鬼に豆を投げつけて追い払い福を家の中に招き入れる、昔から



日本に伝わる行事です。

この豆まきという風習は、日本発祥のものではなく、「明」時代(1368年~1644年)に中国から伝わったもので、日本では室町時

代から江戸時代前期にあたります。

昔は、病気や災害など人間にとって悪い事はすべて「鬼のせい」と考えていました。そして、豆にはその鬼を退治する力があると信じられていました。豆には「魔滅(まめ)」=「魔を滅する」という意味があります。これは昔、京都の鞍馬に鬼が出た時に大豆を鬼の目に投げつけて退治したという話があり、その事から「魔目(鬼の目)」に豆を投げて「魔を滅した(鬼を退治した)」という意味に繋がったのだそうです。

鬼滅の刃に出てくる炭治郎の妹「禰豆子」の名前にも鬼を払う「豆」が入っているのも、昔からの言い伝えが関係しているのかも知れません。

明日の夜は、皆さんの回りにいる鬼を追い払うことができるように、「悪霊退散」の強い思いを込めて豆まきをしませんか。

2月2・3日に学力テストを行います。

国の緊急事態宣言を受け4月~5月に臨時休業を行いました。休業により不足した分の授業時間は、夏休みを短縮したことや行事の見直し等を行い補ってきたため大きな遅れはありません。

そこで、今年度の子どもの学習状況を確認する意味からも、以下の日程で学力テストを実施いたします。1・2年生は集中できる時間を考慮して2日間に分けて実施します。

期日(曜)	学年・教科
2月2日(火)	1・2年生・国語
2月3日(水)	3~6年生・国語・算数 1・2年生・算数

体調を整え、今まで学んできたことを生かして「全集中の呼吸」でテストに臨んでくれることを期待しています。